



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 ファイナンス担当 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 2018年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	12,630	△2.2	278	△22.8	289	△24.6	128	△41.7
2018年3月期第1四半期	12,910	1.9	360	274.8	383	—	219	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 89百万円 (△56.7%) 2018年3月期第1四半期 206百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	2.51	—
2018年3月期第1四半期	4.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	45,746	32,752	70.9	636.09
2018年3月期	45,977	33,078	71.2	642.35

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 32,420百万円 2018年3月期 32,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,078	1.3	551	103.6	672	45.1	△410	—	△8.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	56,057,474株	2018年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	5,089,327株	2018年3月期	5,089,207株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	50,968,208株	2018年3月期1Q	51,371,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の経済状況は、勢いはなくなったものの、景気も緩やかに拡大が続いているとみられ、小売業におきましても、人手不足やコスト上昇などの課題が出てきているものの、好調なインバウンド需要もあって概ね堅調であったと思われます。

そのような中、当社グループの国内事業におきましては、売上高、客数ともに前年実績を上回る年間計画のもと、新TVCMの制作に取り組んでまいりました。さらに積極的に広告・販促活動に力を入れていく方針ですが、このたびのTVCMの初回放映が6月下旬であったこともあり、当第1四半期連結累計期間においては、まだその効果は限定的で、前年実績を下回る結果となりました。

主要子会社であります㈱三城におきましては、不採算店舗の退店により店舗数は純減しており、売上高、客数はまだ前年を下回っておりますが、店舗セグメントを明確にした改装や、新しく投入した『MADE IN JAPAN』フレーム、また高性能レンズのプロモーションにも力を入れることで、客数増に注力してまいりました。徐々にその効果は出てきておりますので、引き続き積極的に取り組んでまいります。

海外子会社におきましては、フィリピン法人や医療事業とタイアップしたベトナム法人は堅調で利益を出しておりますが、中国、韓国法人は国内の経済環境やコスト構造の変化などにより、厳しい状態が続いており、海外法人合計では、前年を下回り営業損失となっております。

また、前連結会計年度末から子会社として連結しております国内の医療関連会社におきましては、初年度から利益に貢献しており、今後も需要は増えると見込まれるため、確実に事業を進めていきたいと考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高12,630百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益278百万円(前年同期比22.8%減)、経常利益289百万円(前年同期比24.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円(前年同期比41.7%減)となりました。

報告セグメント情報の状況は、次の通りであります。

## 1) 日本

国内の売上高は11,049百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益313百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

## 2) 海外

海外の売上高は1,660百万円(前年同期比0.3%減)、セグメント損失36百万円(前年同四半期はセグメント利益16百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ231百万円減少して45,746百万円となりました。これは主に流動資産における現金及び預金が297百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ94百万円増加して12,994百万円となりました。これは主に流動負債における支払手形及び買掛金が93百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ326百万円減少して32,752百万円となりました。これは主に利益剰余金が281百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,286	16,988
受取手形及び売掛金	3,325	3,637
商品及び製品	10,189	10,283
原材料及び貯蔵品	1,115	1,024
その他	1,096	1,026
貸倒引当金	△180	△192
流動資産合計	32,831	32,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,323	2,384
機械及び装置(純額)	27	30
工具、器具及び備品(純額)	944	964
土地	926	926
建設仮勘定	76	14
その他(純額)	39	38
有形固定資産合計	4,337	4,358
無形固定資産	717	644
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,547	5,430
建設協力金	53	49
繰延税金資産	167	165
その他	2,481	2,489
貸倒引当金	△106	△106
関係会社投資損失引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	8,090	7,976
固定資産合計	13,146	12,979
資産合計	45,977	45,746

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,714	1,808
短期借入金	5,808	5,807
1年内返済予定の長期借入金	2	—
未払金	2,176	2,167
未払法人税等	378	157
賞与引当金	68	37
店舗閉鎖損失引当金	52	24
その他	1,355	1,647
流動負債合計	11,555	11,651
固定負債		
長期借入金	500	500
役員退職慰労引当金	58	63
退職給付に係る負債	15	17
繰延税金負債	69	69
資産除去債務	409	402
その他	290	289
固定負債合計	1,343	1,342
負債合計	12,899	12,994
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	28,113	27,831
自己株式	△8,644	△8,644
株主資本合計	32,199	31,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	180
為替換算調整勘定	362	322
その他の包括利益累計額合計	540	502
新株予約権	44	39
非支配株主持分	294	292
純資産合計	33,078	32,752
負債純資産合計	45,977	45,746

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	12,910	12,630
売上原価	4,199	4,154
売上総利益	8,711	8,476
販売費及び一般管理費	8,350	8,197
営業利益	360	278
営業外収益		
受取利息	3	6
受取賃貸料	4	7
為替差益	6	—
受取手数料	2	2
貯蔵品売却益	0	6
協賛金収入	—	14
その他	28	32
営業外収益合計	46	68
営業外費用		
支払利息	6	10
為替差損	—	34
支払手数料	6	4
持分法による投資損失	5	—
その他	5	8
営業外費用合計	23	58
経常利益	383	289
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	15	7
投資有価証券評価損	2	—
店舗解約損失金	4	1
店舗閉鎖損失引当金繰入額	17	8
特別損失合計	40	17
税金等調整前四半期純利益	343	271
法人税等	124	142
四半期純利益	218	128
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	128

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	218	128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	2
為替換算調整勘定	△65	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△12	△39
四半期包括利益	206	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207	90
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,273	1,637	12,910	—	12,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	27	95	△95	—
計	11,341	1,665	13,006	△95	12,910
セグメント利益	345	16	361	△1	360

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,001	1,629	12,630	—	12,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	31	79	△79	—
計	11,049	1,660	12,710	△79	12,630
セグメント利益又は損失(△)	313	△36	277	1	278

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。